

地域医療における高度救命救急センターの取り組み



高度救命救急センター長の高須修でございます。

久留米大学病院高度救命救急センターは、「集中治療型」の三次救急施設として、24時間365日重症救急患者の受け入れを行っています。筑後地域における医療の特徴の一つは、充実した救急医療体制にあります。久留米市における救急搬送時間（119番入電から病院到着まで）は25分（福岡県30分、全国1位）、救急隊による医療機関への照会回数1回が95%（たらいまわし無し）、市内医療機関での傷病者収容率は95%以上（地域完結）など、救急医療システムの充実度の指標はいずれも全国トップレベルにあります。高度救命救急センターにおいても地域救急医療の砦となれるよう、断らない救急医療を目標に救急応需率95%以上

を維持しています。さらに、2002年に導入された福岡県ドクターヘリ事業に加え、2016年からは久留米市および久留米広域消防本部との合同事業として、久留米市ワークステーションドクターカーシステムが本格運用となり、医師が救急現場に急行し医療を開始する病院前救急診療にも力を注いでいます。早期の医療介入による高い社会復帰率、適切な病院選定と救急救命士の教育を使命として、日々取り組んでいます。

救急医療体制の構築は、地域医療を考える上で重要な要素の一つです。地域救急医療の基盤を支える一施設として皆様に信頼していただけるよう、各医療機関の先生方との連携を密に、大学病院各診療科とともに努力して参りたいと思います。今後とも、皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

平成29年10月

高度救命救急センター長
救急医学講座主任教授

高須 修

病院執行部体制

病 院 長	八 木 実
病院長特別補佐	志波 直人
副 院 長	上野 高史
	山川 良治
	鳥村 拓司
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

1. 患者中心の医療
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
2. 共生の医療
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
3. 高度で安全なチーム医療
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
4. 地域と共に歩む医療
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
5. 優れた医療人の育成
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS

久留米大学病院看護部の取り組み

久留米大学病院看護部には多様な「専門看護師・認定看護師」が所属しており、多くの医療現場で活動しております。様々な問題に直面する患者さんやご家族に対し幅広く支援できる体制を整えています。お困りのことがありましたら是非ともご相談ください。

専門看護師	がん看護	老人看護	感染症看護
認定看護師	緩和ケア	がん化学療法看護	集中ケア
	皮膚・排泄ケア	救急看護	がん放射線療法看護
	摂食・嚥下障害看護	感染管理	新生児集中ケア
	手術看護	透析看護	脳卒中リハビリテーション看護
	糖尿病看護		

専門看護師・認定看護師よりご挨拶

がん看護専門看護師 原 美穂

専門看護師をご存知でしょうか？久留米大学病院にはがん看護5名、感染看護2名、老人看護1名の8名の専門看護師がいます。さらに認定看護師も27名おり専門・認定看護師の数は全国でもトップクラスを誇ります。専門看護師は「実践」「相談」「調整」「倫理調整」「教育」「研究」の6つの役割を持っています。当院の専門看護師は、外来や病棟、感染制御部、医療連携センターでと様々な部署でその役割を発揮しています。私を含むがん看護専門看護師は、がん患者さんやご家族の治療に伴う心身の苦痛の緩和への介入や意思決定支援等の直接ケア、患者さんやご家族をサポートするスタッフへの支援・教育を行っています。また、地域への関わりも大切な役割のひとつであり特に教育の場面で活動しています。

私は医療連携センターにおいて、後方支援（担当診療科の患者さん、ご家族からの相談、転院や在宅調整）とがん相談支援センターの専任として当院だけでなく地域のがん患者さんやそのご家族、医療機関への相談支援等を行っています。医療連携センター配属となって1年半、多くの患者さんやご家族と接してきました。その中で、自分の専門性を活かせる場面も多くありましたが、やはり患者さんのニーズも多岐にわたることから悩むこともありました。そのような時、他分野の専門家へつなぐことができたことは久留米大学病院だからではないかと実感しました。

地域の医療機関の方々の熱意を日々感じ刺激を受ける中、筑後地区の基幹病院として、患者さんやご家族が安心して治療・療養に専念でき自分らしい生活が送ることができるよう地域の医療機関の皆さまとも連携を図り、私たちが少しでもお役に立つことができればと考えております。

皮膚・排泄ケア認定看護師 高木 孝実、花田 美奈子

現在当院では、専門看護師8名・認定看護師27名が各専門分野において活動しています。その中で、皮膚・排泄ケア認定看護師は3名在籍しており、褥瘡等の創傷管理及びストーマ・失禁等の排泄に関するケアを提供しています。

専従の褥瘡管理者は、褥瘡対策チームと連携し褥瘡回診や委員会等の院内における褥瘡対策に取り組んでいます。職員への院内教育や院内認定看護師の人材育成にも携わり、褥瘡予防やスキンケアの知識技術向上に努めています。また、年間100例以上のストーマ造設術が行われており、ストーマ看護外来ではストーマに関する術前から退院後の生活等のケア・相談に対応しています。訪問看護ステーションや地域の保険医療機関との連携、他分野の専門・認定看護師と情報共有を行い、外来・在宅においても、患者さん・ご家族に寄り添ったケアの提供を心がけています。これからも、患者さんの問題解決に早期に取り組み、笑顔と思いやりある看護を目指してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



専門看護師・認定看護師
(2017. 8)

久留米大学関連医療施設協議会総会並びに懇親会開催

去る平成29年10月7日(土)に久留米大学関連医療施設協議会総会並びに懇親会を開催いたしました。お忙しい中ご出席を賜りました関連医療施設関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

【総会式次第】

1. 平成28年度会計報告
2. 協議会入退会の報告
3. 久留米医療圏の地域医療構想について
4. 突然の衆議院解散が今後の医療に及ぼす影響を予想する
5. 専門医制度について
6. アザレアネットを利用した「がん地域連携クリティカルパス」運用について

紹介予約センター電話対応を拡大します !!

医療機関の先生方、医療連携ご担当の皆様におかれましては、いつも紹介予約センターをご利用いただき、お礼申し上げます。

平成29年10月1日よりお電話で直接予約が可能な科を増やすこととなりました。まだまだ不十分な点もございますが、ご意見をいただきながら改善を図ってまいりますので今後とも紹介予約センターをご利用いただきます様よろしくお願いいたします。

【新たにお電話でも直接予約可能となった診療科】

肝がんセンター

循環器病センター

心臓・血管内科（＊１）

心臓・血管外科

内科総合外来

もの忘れ外来（＊２）

がん集学治療センター

感染制御科

小児科（＊１）

脳神経外科

婦人科

麻酔科（＊２）



私達が予約をお取りします。

＊１ 診察医師の指定がない場合に、電話での予約がお受けできます。

＊２ 診療科の担当者に電話をお繋ぎいたします。

全科の状況は当院より発行いたしております「久留米大学病院 外来診療担当医・専門領域一覧表」をご覧ください。

久留米大学病院 紹介予約センター〔医療機関専用〕

電 話：0800-200-4897 F A X：0800-200-9489

受付時間：（月～金曜日） 8：30～18：00
（土曜日） 8：30～14：00